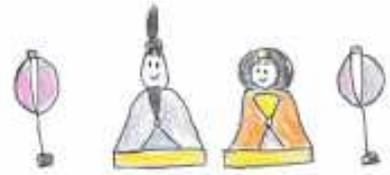




ひな祭り



平成28年 3月号

題字 1年 尾上 由真

感謝・感激・感動の卒業式！！ 3月1日(火)



春の気配が感じられる3月1日、3年生11名が分校を巣立ちました。河本好史校長先生は卒業証書を一人ずつ授与し、祝辞の中で「最後まであきらめずに自分を信じて頑張ってきたからこそ、今日のこの日を迎えられたのです。」と述べられました。またノーベル生理学・医学賞を受賞した大村 智氏が定時制教員時代に油まみれの指で答案を書いている生徒の姿を見て、自ら省み‘人の役に立ちたい’と決意したことや、「成功した人は失敗を言わない。成功した人は人より何倍も失敗していると思う。」「失敗したから良かった。それが必ず役立つ。」という言葉を紹介しました。そして、「君たちが‘人の役に立ちたい’という志をもち続け、努力を続けていくことができれば、それが現実に近づき、自らをより大きく成長させると信じています。清水分校で成長できた自分を信じて、これからの人生を歩んでいってください。」とエールを送りました。また、来賓の方々からも心のこもった励ましのご祝辞をいただきました。

答辞では中西涼日さんが、「私達が心から楽しく取り組んでこられたのは、少人数の中で培ってきた、信頼や思いやりの気持ちがあったからだと改めて思います。」と述べるとともに、「清水分校の灯火がいつまでも続くことをお願いして答辞とします。」と言葉を結びました。

生徒会主催のお別れ会では、卒業生が幼い頃や高校生活をスライドで振り返ったり、小中学校の時代にお世話になった恩師の方々からのお祝いメッセージを披露したりしました。続いて、卒業生からお世話になった先生方に寄せ書きが贈られ、保護者の皆様からいただいた手紙を披露しました。最後に1年生からは寄せ書きを、2年生からは手作りのお菓子を卒業生にプレゼントして終了しました。「いい卒業式だった」と保護者の方も喜んでくれました。



2年生、久野原小学校へ 2月17日(水)



タイの高校生ヂスダー・ピムノンさんが来校し、2年生とともに久野原小学校を訪問しました。まず2年生による人形劇「赤ずきんちゃん」。少し緊張していましたが、徐々に慣れてきて練習通りにできました。続いて絵本の読み聞かせ。小学生達はきらきら光る目で絵本を見つめていました。その後、タイ語での挨拶や自分の名前の書き方について教えてもらいました。

「小学生が真剣に聞いてくれてうれしかった。」「台詞が棒読みになって気持ちが込められなくてとても難しかった。」「小学校のみんなが喜んでくれたので、頑張ってたよ良かった。」「楽しかったと言ってくれて安心した。」(感想)

